

平成21年7月17日

阪神電気鉄道株式会社
南海電気鉄道株式会社

阪神 & 南海旅客誘致のコラボレーションポスター 「六甲山」と「高野山」の見どころを紹介します 阪神 南海で行く関西再発見の旅

阪神電気鉄道(社長：坂井 信也)と南海電気鉄道(社長：亘 信二)では、阪神なんば線を介して、より身近になった「阪神沿線」と「南海沿線」で、お客さまの電車による移動を提案するため、7月19日(日)から相互の沿線の見どころを紹介するポスターを車内に掲出します。

同ポスターでは、「山上のリゾートに遊ぶ」と題して、両沿線を代表する避暑地である「六甲山」と「高野山」を取り上げ、古くから六甲山頂までのアクセスルートとして親しまれている「六甲ケーブル」と、高野山までの新たなアクセスとして話題の展望デッキ付き電車「天空」を写真で紹介しています。

詳細は以下のとおりです。

ポスターのテーマ

「山上のリゾートに遊ぶ」
両沿線をそれぞれ代表する山として
「六甲山」と「高野山」を紹介します。

掲出開始

平成21年7月19日(日)

サイズ

B2縦、B3横

掲出枚数

2,700枚(両社合計)

その他

今回は「灘の杜氏 堺の茶人」をテーマに、平成21年5月から7月まで掲出しました。



以上